



114
A5233

興業組合規約書

- 第一條 本業ハ此規約書ニ連署スル組合員ニ於テ新潟縣越後國別紙明細表ノ芒ニ産出スル石油ヲ掘採製煉及販賣シ廣ク内外ノ需用ニ供スルヲ目的トス
- 第二條 當組合ハ石油興業組合ト稱シ本業ヲ營ム爲メノ事務所ハ東京ニ本部ヲ置キ其他必要ノ各地ニ支部ヲ置ク可シ
- 第三條 本業ヲ營ム契約ノ期限ハ開業ノ日ヨリ滿十五ケ年トシ滿期ニ至リ尙繼續セント欲スル時ハ組合全員更ニ協議ス可シ
但本業ハ石油産出所得ノ數量ニヨリ營業ノ目的ヲ達シタル時ヲ以テ開業ノ日ト定ム
- 第四條 本業ノ損失及負債辨償ノ爲メ組合員ノ負担スル義務ハ第五條ニ掲クル合本ノ資金ニ止マル可シ
- 第五條 本業ノ資本金額ニ万五千圓トシ株數壹千株ニ分チ壹株金ニ十五圓ト

シ各自所有株ニ應シ創始ノ際同時ニ拂込ム可シ尙開業ノ後ニ至リ資本ノ増額ヲ要スル時ハ更ニ組合全員ノ會議ニ付ス可シ

第六條 組合員各自株金ニ充テ創始ノ際既ニ拂込タル金員ハ退テ開業ノ上政府ノ認可ヲ得ル迄ハ組合員連署シテ株券ニ換ル受領証書ヲ交付ス可シ

第七條 組合員中ヨリ本業ノ職務ヲ担当スル重役ヲ互撰ス可シ

第八條 役員ノ撰擧ハ一人三十株以上ノ所有者互撰ヲ以テ頭取一名理事二名ヲ撰定シ之レヲ重役トス可シ

第九條 頭取ハ本業全般ヲ統轄シ理事ハ頭取ヲ助ケ頭取事故アル時ハ代理シ常ニ業務ヲ整理シ會計ヲ監督ス

第十條 重役ニハ創始ノ時ヨリ開業ノ際迄職務ノ費用ニ充テ日當ヲ與ヘ開業ノ際ヨリ後月給ヲ與フ可シ

第十一條 重役ノ職務日當及開業後ノ月給ハ豫メ組合全員ニ於テ決議シタル額ヲ

以テス

第十二條 重役ハ職務上ノ得失ト費用ノ増減ニヨリ便宜兼務セシムルヲ得

第十三條 重役一人ニシテ二職以上ヲ兼ヌル時ハ一方多額ノ職務日當又ハ月給ヲ給ス可シ

第十四條 重役ノ任期ハ滿一ケ年トシ滿期ニ至リ改撰ス但改撰ハ前任ヲ再撰スルモ妨ケナシ

第十五條 事業ノ繁閑ニヨリ重役ニ於テ属員一人又ハ數人ヲ雇入ルヲ得

第十六條 雇入技士職工事務員ノ月給五十圓以内ノモノハ重役ニ於テ決スルヲ得五十圓以上ノモノハ組合員ノ協議ニ付ス可シ

但雇入採用方法ハ重役ニ於テ適宜ニ設ク可シ

第十七條 開業後組合總會ハ其趣向度ニ開クヲ定式ノ會議トシ重役又ハ組合員中ノ求メニヨリ開クヲ臨時會議トス

第十八條 但議事則ハ開業ノ時編纂ス可
定式會議ノ要領左ノ如シ

- 第一 前半期ノ出納精算
- 第二 前半期ノ事業報告
- 第三 前半期ノ純益配當
- 第四 役員及雇員賞與
- 第五 後期事業ニ關スル協議

第十九條 會議ノ場所ハ本部所在ノ地トシ若シ當時出席シカタキモノハ委任狀ヲ付シタル代理者ヲ以テ何時モ會議ニ與カラシム可シ

第二十條 會議當日決席者アリテ空シク解散スルキハ次會欠席者アルモ當日出席員ニ限り決議スルヲ得

第二十一條 總テ會議ノ決議案ハ番號ヲ付シ議事録ニ登載シ當日出席員捺印又ハ姓

名手署ス可シ

第二十二條 組合員ノ一人又ハ數人第一條ニ附帶スル別紙明細表石油坑區ノ内試掘地舊區地ノ名義ヲ有スルト雖モ組合全員ノ許諾ヲ得スシテ該坑區ヲ政府ニ返上又ハ他人ニ讓渡ス其他坑業上他人ニ關シ一切ノ契約ヲ爲スヲ得ス

第二十三條 組合員ハ勿論重役ト雖モ各其資格ヲ以テ世上ニ對シ金錢貸借スルヲ得ス

第二十四條 本業計算各帳簿ハ複記法ヲ用ヒ其他計算書類ハ簡明ナル規定表ヲ設ク可シ

第二十五條 金錢出納ハ重役ニ於テ其取締方法ヲ設ク可シ

第二十六條 組合員連署盟約証書ノ完結後ハ何人ト雖モ更ニ加入セシムルヲ得ス若

シ不得止事柄ノ生シ又ハ組合員ノ内缺員ヲ生スル時ハ全員ノ合意ヲ以テ其可
否ヲ決ス可シ

第廿七條 組合員所有株ハ勿論幾部分ノ權理ト雖モ組合員ノ内若クハ其正統相續
人タルノ以外ハ何人ニ對スルモ賣買讓與其他借用金ノ抵當ト爲スヲ得ス然レモ
創始ノ際一人壹千圓以上ニシテ當組合株金拂込ノ爲ノ便宜借入其金主ニ對シ所
有株ヲ抵償ニ供セント欲シ其事由ヲ申立タル時ハ當組合ハ特別ニ之レヲ認メ置
ク可シ

但當組合ハ其負債ノ辨償ヲ保證セズ

第廿八條 開業前組合員中ヨリ退去セント欲スルモ既ニ拂込タル株金ハ消費金ト
シテ返戻セズ然レモ開業後其狀況ニヨリ組合員協議ノ上其全部又ハ幾部分ヲ還
付スルコトアル可シ

第廿九條 開業後組合員中若シ不得止事柄ニテ所有株ヲ保ツコト不能場合アル時ト

雖モ他人ヲ替ラシメテ組合員トスルヲ得ス其所有株ニ對スル當時ノ損益ヲ受授
シ本人ヲ除名ス可シ

但此場合ニハ第二十七條當組合ノ認メタル貸借ハ其債主ヲ立會セ
シムルモノトス

第三十條 當組合開業ノ期日定マリタル時ハ此規約書ノ旨趣ニ基キ更ニ合資會社
ヲ起シ定款ヲ製シ政府ノ認可ヲ請フ可シ

但定款ハ此規約書ノ旨趣ニ背戻セサルコトシ不得止變換ヲ要スルコ
トアルモ株數ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス可シ

第卅一條 開業後ト雖モ更ニ定款ヲ製シ政府ノ認可ヲ了スル迄ハ此規約書ハ組合
員相互ノ間タ契約上必要ナリトス

第卅二條 此規約條件中將來法律ニ抵觸スルモノ又ハ營業上利害ニ關スルコトノ生
シ更正又ハ増補刪除ヲ要スル時ハ組合全員ノ合意ヲ以テ之レヲ行フ可シ

第卅三條 組合員ハ此規約書ノ條件ヲ堅ク守ル可キ同文ノ盟約証書ヲ製シ連署捺印各自ニ所持可シ

以上三十三ヶ條

明治二十四年 月 日 石油興業組合

[Faint, illegible text, likely bleed-through from the reverse side of the page]

